



いずみだい

北九州市立泉台小学校 校長 平川 信乃

学校教育目標

「心豊かに たくましく生きぬく 実践力のある子どもの育成」
～徳・知・体の調和のとれた人間の育成～

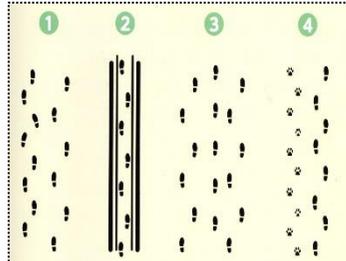
目指す子ども像「あいいうえお」

「あ」 あいさつをする子ども 「い」 いつもやさしくできる子ども
「う」 美しい学校にしようとする子ども
「え」 笑顔で体を動かす子ども 「お」 お話を最後まで聞く子ども

人権学習を行いました。

12月4日～10日は人権週間でした。そこで、泉台小学校では、1年生から6年生のそれぞれの学年で人権学習を行いました。それぞれの学年の学習内容を紹介します。この人権学習を通して、「自分や周りの人を大切にすること」「差別は絶対にいけないこと」などを子どもたちは学んでいます。ぜひ、ご家庭でも人権のことについて話題にしてみてください。

1年生 「あしあと」



子どもたちは、色々な足跡を見て「これは誰の足跡だろう」と考えていきました。その中で、盲導犬を連れている人、車いすの人、足を怪我している人など、身の回りには色々な状況になっている人がいることに気付くことができました。学習の終わりには、「けがをしていたら、たすけてあげる。」「こまっているひとに、『てつだいしましょうか。』という。」など、それぞれの子どもたちが周りの人への思いやりの気持ちをもつことができました。

2年生 「思いこみやきめつけについて考えよう！」

スカートは、
女の子しかはかない。

夜にふえをふくと
ヘビがでてくる。

こどもは、みんな
勉強する。

上にあるようないくつかの「思い込み」「決めつけ」についてどう思うかと考えました。「スカートをはく男の人もいますよ。」「夜にピアノを弾いてもヘビは出て来なかった。」「世界には、働いて勉強をできない子もいるよ。」など、それぞれの子どもたちが自分なりの意見を言うことができました。その話し合いの中で、思い込みや決めつけで判断するのはよくない、人によっていろんな理由があるからそれを考えることが大切ということをおぼることができていました。

3年生 「ちょっと変わった転校生『たかこ』」

クラスに来た転校生「たかこ」は、平安時代の貴族でした。言葉や服装、行動が自分たちと違うことから、「たかこ」は一人ぼっちになってしまいます。その場面で子どもたちから「みんなと違うのはよくないことなのか」「みんなと違うからといって、いじめられるのはおかしい。」など意見が出ており、見かけや言葉の違いで判断するのではなく、仲間だから差別しないことが大切だと考えることができていました。



「モモマルくんと考えよう」

噂や思い込みで、カラスさんのことを悪く言っているブタさんたち。カラスさんの優しさを知っているモモマルくん。それぞれの立場で考えることで、噂や思い込みの怖さについて考えました。話し合いをしていく中で、「はっきりとしない噂話や思い込みで判断していくことはいけない。そのことが差別につながっていく。」ということをおぼりました。



4年生 「モモマルくんと考えよう②③」

「こわい言い伝えがある場所に住んでいるから、リスちゃんはお誕生日会に呼ばない。」という話を聞いたモモマルくん。リスちゃんの立場になって考えたり、どうしてそんな噂になっているかを実際に調べたりしていきました。

子どもたちは「昔のきまりで差別されていたリスちゃんが、今も差別されている。」ことのおかしさに気付き、「正しくない情報で判断するのではなく、自分できちんと調べたことや正しい情報を見て、自分で考えることが必要だ。」ということに気付くことができていました。



もうリスちゃんを仲間はずれにはさせないよ!

5年生 「あっていいちがい あってはいけないちがい」

ジョン君は肌の色が黒いが
トム君は白い。

女の子のAさんは野球、
男の子のBさんはピアノを習う。

A町に住んでいる人とは結婚してよいが、
B町の人とは結婚してはいけない。

上にあるようないろいろな違いの中から、「あってもいいちがい」と「あってはいけないちがい」はどれかをそれぞれが考えて分けていきました。分けた理由を話していく中で、性別、人種、生まれによる決めつけは差別につながっていくということについて気付くことができていました。子どもたちの感想の中には、「差別や偏見は絶対にしてはいけない。」「差別をしないように生きていきたいと思った。」といったものが多く、一人一人が身の回りの人権問題について考えることができていました。

6年生 「すべての人が幸せに暮らせる社会をめざして」

6年生で学習してきた歴史学習の中で、「厳しい差別を受けた人々」という内容をもとに、差別の歴史を振り返っていききました。その中で、解放令が出された後も差別が続いていることや住む場所を理由に差別が生まれている現実があることを学習しました。子どもたちは、「みんなが公平に暮らせるために人の違いを受け入れる」「昔からの差別意識をなくし、差別を許さない気持ちをもつ」など、真剣に受け止め、話し合い、自分なりの考えをもつことができていました。

